

(基本目標3)多様で豊かな自然の恵みを次世代へつなげるまち

1. 生物多様性の保全・向上

1-1 希少動植物の保護

(ア)コシガヤホシクサ野生復帰事業

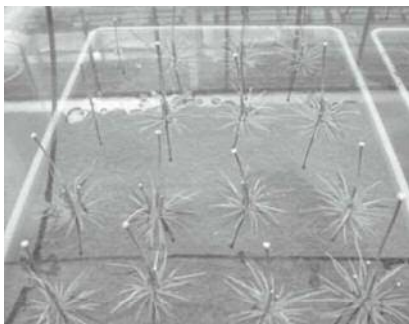
コシガヤホシクサは昭和13年に旧越ヶ谷町の元荒川付近で発見され、翌年新種のホシクサとして発表されました。このとき、発見地にちなんでコシガヤホシクサと命名されましたが、その後越谷市周辺では見られなくなりました。昭和50年には、茨城県下妻市の砂沼という農業用のため池で再発見されましたが、ため池の環境の変化により平成6年に絶滅してしまいました。しかし、残されていた種子から、国立科学博物館筑波実験植物園などの関係機関により、現在は砂沼での野生復帰の取り組みが進められています。

市では、「越谷」の名を持つ貴重な植物であるコシガヤホシクサを越谷で野生復帰させる取り組みを進めています。平成23年から、国立科学博物館筑波実験植物園から種子の提供や技術指導を受け、農業技術センターにおいて種子増殖のための栽培を行っています。また、専門家や関係機関との検討・協議を進め、かつてコシガヤホシクサが発見されたと考えられる葛西用水路で播種実験を行い、野生復帰に必要となる生育条件を調査しています。

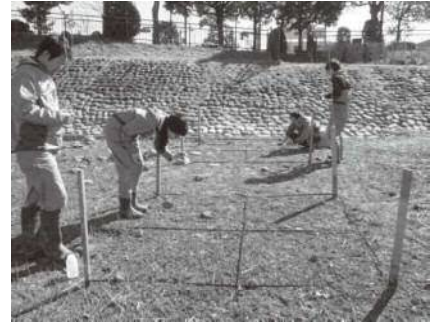
野生復帰事業の経過

年度	概要	栽培の概要			播種実験の概要	
		播種数	回収種子数	特別展示	播種数	試験区
23	栽培の開始	5千粒	45万粒	1ヶ所		
24	野生復帰検討会議の設置	6万粒	136万粒	1ヶ所		
25	野生復帰候補地環境調査 野生復帰技術開発計画策定	3万粒	65.9万粒	7ヶ所		
26	葛西用水での播種実験開始	3万粒	140万粒	9ヶ所	21万粒	4ヶ所・31㎡
27	中学校との協力事業開始(中央中・東中)	3万粒	184万粒	9ヶ所	120万粒	12ヶ所・64㎡

※種子の数は概数



農業技術センター内で栽培されているコシガヤホシクサ



葛西用水での播種実験

(イ)シラコバト保護事業

シラコバトは、昭和31年に「越ヶ谷のシラコバト」として国の天然記念物に、昭和40年に「県民の鳥」に、昭和63年には「市の鳥」に指定され、多くの市民に親しまれてきました。しかしながら、市街化によるねぐら・営巣地となる屋敷林の減少、主要な採餌場所となる耕地や畜舎の減少、畜舎への侵入遮断などによりその生息数が激減しています。

市では、埼玉県に協力し、シラコバトの生態に詳しい専門家、シラコバトを飼育している動物園、関係行政機関等とシラコバト保護対策検討会議に参加するとともに、平成26年3月に策定された「埼玉県シラコバト保護計画」に基づき、保護事業を実施しています。キャンベルタウン野鳥の森では、平成20年よりシラコバトの保護

第2章 環境の現状と対策

増殖を行っており、平成26年10月に市内で初めて飼育増殖に成功しています。平成27年度はさらに4羽増え、飼育数は14羽となっています。また、平成27年度には埼玉県の補助金を活用し、シラコバト保護増殖施設(木造平屋建て26.44㎡)を整備しています。



野鳥の森で初めて孵化したヒナ



シラコバト保護増殖施設



(ウ)キタミソウ保全事業

キタミソウは、北海道の北見地方で発見され、その名がつけられているとされています。越谷市内では、昭和25年に発見され、その後絶滅したとされていましたが、昭和53年にト沢氏によって、市内の葛西用水で再発見されました。一年草で種子により繁殖し、花は非常に小さく1~2mm程度の白色、葉はスプーン型の長楕円形で柄を含めて2cm程度です。越谷では、用水の水が落ちた後の湿った川底で成育し10~12月と3~4月に花が見られます。市内では、葛西用水と古利根川に生育していますが、中でも、越谷市役所前の葛西用水路瓦曾根溜井に多く見られます。



キタミソウ

キタミソウの自生地は、行田市、春日部市、岩槻区、草加市等でも確認されていますが、その中でも、葛西用水路瓦曾根溜井は、最大の自生地になっています。埼玉県レッドリストでは、野生での絶滅の危険性が高い、絶滅危惧IB類に分類されています。

平成12年度には「埼玉県希少野生動植物の種の保護に関する条例」に基づく「県内希少野生動植物」に第1次指定され、捕獲や採取する場合はあらかじめ県への届出が必要となっています。また、葛西用水路瓦曾根溜井では毎年、市民団体により「キタミソウ観察会&クリーン作戦」が行われています。

(エ)フジバカマ保全事業

フジバカマは、秋の七草の1つに数えられ、河川敷などの明るく湿った草地に生育する多年草です。近年、湿地の埋め立てや河川敷の開発などで生育地が激減し、埼玉県レッドリストでは、準絶滅危惧種に指定されています。市内では元荒川河川敷の一部に自生地がありますが、その他に、自生地付近の公園の保護ゾーンにおける保全作業の実施、市内の小中学校での保全事業等が行われています。



フジバカマ

基本目標別の現状と対策
(基本目標3) 多様で豊かな自然の恵みを次世代へつなげるまち

1-2 鳥獣保護

「鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律」に基づき、越谷市内では、宮内庁埼玉鴨場周辺 145ha、大吉調節池周辺 10.3ha が「鳥獣保護区」に指定され、捕獲が禁止されています。その他の地区でも、法律に基づき狩猟鳥獣の種類と、狩猟期間及び捕獲数量の制限などが定められています。また越谷市全域は、銃猟禁止区域に指定されています。

(ア) 傷病野鳥保護治療・傷病野鳥里親事業

傷ついたり病気になったりして衰弱し、保護が必要な野鳥に適切な治療を施し、山野で生息できる状態に回復するまで保護飼養し、自然に復帰させる事業を平成3年度より市内の獣医師と市民等の協力により実施しています。里親登録者数は、平成27年度末で個人16人、小学校1校となっています。

傷病野鳥の保護数(平成27年度)

カルガモ	2	ツバメ	2	フクロウ	2
キジバト	3	ドバト	11	マガモ	1
ゴイサギ	1	ヒヨドリ	1	ムクドリ	1
スズメ	6				

保護実績(年度別)

年度	保護数	治療数	放鳥数	死亡数	里親依頼件数
3～10	453	449	227	216	52
11～20	800	680	356	367	87
21～25	210	176	87	111	19
26	33	18	11	9	4
27	30	17	20	8	0
合計	1,523	1,340	699	712	162

(イ) 有害鳥獣対策

埼玉県内では、野生化したアライグマやハクビシンによる、農作物への被害や、人家に住み着く等の生活被害が急増しています。また、カラスによる人間への攻撃被害も多く寄せられています。市ではこのような被害などにより捕獲の必要があると認められた場合、申請に対し捕獲の許可をしています。また、市では平成21年度より埼玉県アライグマ防除実施計画に参加しており、平成27年度は6頭捕獲しています。

捕獲鳥獣数(過去5年間)

年度	捕獲件数			特定外来生物防除数	
	種類	件数	種類	件数	種類
22	ドバト	2	ハクビシン	8	アライグマ
	カラス	2			
23	カラス(卵)	2	ハクビシン	13	アライグマ
24	ドバト	48	ハクビシン	22	アライグマ
25	ドバト	75	カラス(卵)	3	アライグマ
	キジバト(卵)	2	ハクビシン	15	
26	カラス	3	ムクドリ(卵)	4	アライグマ
	ドバト	32	ハクビシン	15	
	ムクドリ	7			
27	ドバトの卵	3	ハクビシン	18	アライグマ
	ドバト	35			

第2章 環境の現状と対策

(ウ) 特定外来生物

特定外来生物とは、生態系、人の生命・身体、農林水産業に被害を及ぼすおそれがあるため、「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律(外来生物法)」により指定された外来生物のことで、飼養、栽培等が規制されております。越谷市内では下記の特定外来生物の目撃情報が寄せられております。

また、近隣市町では平成 26 年度に特定外来生物であるセアカゴケグモの目撃情報が寄せられ、駆除を行っております。

越谷市内で目撃情報のあった特定外来生物(過去5年間)

植物(4種)	魚類(4種)	哺乳類(1種)
オオキンケイギク	カダヤシ	アライグマ
アレチウリ	オオクチバス	両生類(1種)
オオフサモ	アメリカナマズ	ウシガエル
ミズヒマワリ	ブルーギル	爬虫類(1種)
		カミツキガメ

1-3 ふるさといきもの調査

越谷市では、市内のいきものの生息状況から見た越谷の自然環境の現状を把握することを目的に、市民調査員の協力により、平成9年度から5年ごとに「越谷市ふるさといきもの調査」を実施しています。

越谷市ふるさといきもの調査による指標生物発見報告状況

指標生物名称	平成24年度		平成19年度		平成14年度		平成9年度	
	報告メッシュ数	発見報告総数	報告メッシュ数	発見報告総数	報告メッシュ数	発見報告総数	報告メッシュ数	発見報告総数
1、在来タンポポ	232	485	261	592	153	324	153	307
2、セイヨウタンポポ	328	913	346	1085	341	965	404	1146
3、セイタカアワダチソウ	256	702	312	812	321	713	291	666
4、カントウヨメナ	131	300	167	395	224	471	192	406
5、キタミソウ	13	27	22	50	19	42	35	74
6、スミレ	110	209	91	239	—	—	—	—
7、ミソソバ	45	116	69	220	74	129	76	133
8、ヨシ(アシ)	189	549	—	—	204	571	239	539
9、ジュズダマ	76	177	—	—	103	194	85	179
10、ハンノキ	70	190	133	324	87	263	112	337
11、ケヤキ	254	609	304	841	279	752	350	967
12、クヌギ	103	275	126	356	106	310	84	249
13、幹周り2m以上の樹木	166	616	167	503	—	—	—	—
14、シラコバト	20	27	38	62	88	178	140	286
15、キジバト	456	1874	329	1488	288	885	255	686
16、コサギ	260	910	218	773	172	448	171	345
17、カルガモ	271	1349	232	1337	181	700	150	497
18、カワセミ	87	380	41	125	—	—	—	—
19、コゲラ	95	232	52	159	32	74	28	40
20、ツバメ	388	1241	292	970	246	607	195	445
21、ツバメの巣	109	220	101	228	72	118	68	145
22、ハクセキレイ	465	1949	321	1312	253	700	267	776
23、モズ	180	468	89	314	93	182	91	260
24、ツグミ	386	971	217	654	130	264	135	245
25、オオヨシキリ	105	292	78	243	54	107	33	58
26、シジュウカラ	300	1022	153	570	98	171	67	119
27、オナガ	261	795	177	489	145	296	127	232
28、モンシロチョウ	309	1041	280	879	315	807	253	636
29、スズグロシロチョウ	64	118	49	58	45	66	48	57
30、アオスジアゲハ	195	504	125	267	164	321	76	175
31、ナガサキアゲハ	54	95	—	—	—	—	—	—
32、ツマグロヒョウモン	178	426	—	—	—	—	—	—
33、コクワガタ	18	21	25	42	10	10	14	17
34、ヒグラシ	23	30	18	23	17	20	16	19
35、クマゼミ	24	38	14	16	—	—	—	—
36、オオカマキリ	63	117	41	71	40	58	43	89
37、シオカラトンボ	158	388	98	213	144	234	108	241
アサザ	—	—	7	12	—	—	—	—
ヨモギ	—	—	—	—	353	976	396	1075
クズ	—	—	—	—	140	264	143	297
セイヨウオオマルハナバチ	—	—	8	9	—	—	—	—
ミドリシジミ	—	—	—	—	6	7	10	13
アメンボ	—	—	—	—	89	213	81	146
ヘイケボタル	—	—	—	—	1	2	1	1
ハグロトンボ	—	—	20	44	—	—	—	—
合計	6,442	19,676	5,021	15,775	5,087	12,442	4,937	11,903

1-4 いきもの写真コンクール

身近な自然環境に触れながら写真を通して越谷の自然を認識し、自然環境の保全や創造意欲の高揚を図るとともに、越谷の自然環境を広めることを目的として、「越谷いきもの写真コンクール」を平成18年度より行っています。平成27年度は第10回として開催し、応募総数71点のうち、最優秀賞1点、審査委員長賞1点、優秀賞3点、入選6点、特別賞(希少種等)1点が選ばれました。

【最優秀賞作品】



タイトル：戯れ
生 物：ダイサギ
撮 影 者：豊田 己八

【審査委員長賞】



タイトル：もう少し背が欲しい
生 物：アマサギ、アオサギ
撮 影 者：三富 信一

【優秀賞作品】



タイトル：モズ
生 物：モズ
撮 影 者：篠 全男



タイトル：小さな生命
生 物：オオヒラタアブ、イボクサ
撮 影 者：吉田 弘



タイトル：トンボ夫婦
生 物：ウリハムシ
撮 影 者：小林 光江

第1回～第10回の応募数

	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回	計
	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	
応募者数	64	63	31	43	37	44	38	31	36	26	413
応募作品数	255	208	102	168	147	170	94	83	93	71	1391

2. 緑の保全・創造

2-1 (仮)平方自然観察公園

市内平方地内にある雑木林(平方 853-1 外、2440 m²)は平成 5 年度より土地所有者の厚意により借用し、自然観察林として活用していましたが、平成 24 年度に市が用地の取得を行い、市内では貴重な、まとまった樹林地として保全しています。

今後は、自然とのふれあいの場、環境学習の場として、さらに活用されるよう、解説版の設置や林内の管理をしていく予定です。



(仮)平方自然観察公園

2-2 こしがや緑のオアシス2020プロジェクト

緑のカーテンや生垣・緑の庭、屋敷林等の創造・維持管理をしていく活動の総称を「緑のオアシス」とし、市と学校・地域コミュニティ・事業者等が連携し、身近な取組から環境問題について考え、実践し、取組の輪を地域に広げていくことを目的とした事業です。平成 25 年度からスタートし、2020 年(平成 32 年)までに、「2020 のエコな取組」の実施を目標としています。平成 27 年度は、荻島地区において、市民や小学校の協力により、ゴーヤの苗配布、こしがや緑のオアシスの募集・認定を行いました。

○小学生によるゴーヤの苗作りと配布

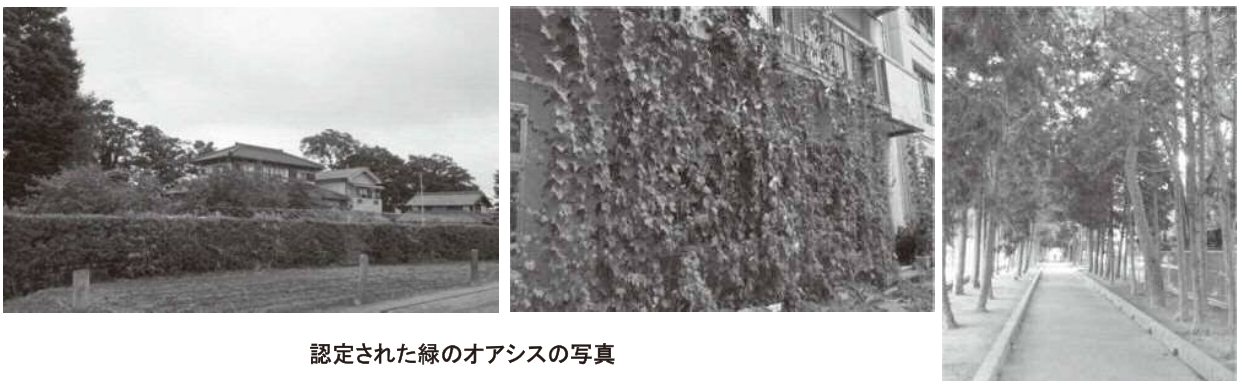
荻島小学校の児童に、ゴーヤの苗を育ててもらい、運動会に合わせて、地域の方々に配布しました。また、育てた苗の一部は学校の緑のカーテンになりました。

○緑のカーテン講習会

緑のカーテンを育て、緑のオアシスに応募して緑のすばらしさを地域に広めていただくため、専門家を講師に招き、「緑のカーテン講習会」を開催し、受講者 99 人にゴーヤの苗を配布しました。

○「こしがや緑のオアシス」の認定

荻島地区と「緑のカーテン講習会」受講者を中心に 7 月 1 日から 8 月 31 日までの期間に募集を行いました。地区コミュニティ推進協議会の協力と、越谷市環境推進市民会議(自然環境委員会)の推薦により多くの応募をいただき、審査の結果平成 27 年度は 66 件を「こしがや緑のオアシス」として認定しました。内訳は、緑のカーテン 45 件、緑の庭・生垣 8 件、屋敷林 12 件、その他 1 件でした。



認定された緑のオアシスの写真

〇こしがや緑のオアシス認定式

「こしがや緑のオアシス」に認定された方に対し、平成27年10月16日にイオンレイクタウン kaze3 階イオンホールにて認定式を行いました。当日は、認定証と認定プレートをお渡しするとともに、荻島小学校から取組の発表をしていただきました。なお、この催しはイオンレイクタウンのイベント「Act Green ECO WEEK2015」(実行委員長C.W.ニコル氏)の1コーナー「地球にいいことスクール」において行われ、認定者24名と関係者、一般観覧者を含め、約60名にご来場いただきました。



こしがや緑のオアシス認定プレート



こしがや緑のオアシス認定証



こしがや緑のオアシス認定式集合写真

「こしがや緑のオアシス」の認定件数(件)

年度	募集地区	協力校	緑のカーテン	緑の庭・生垣	屋敷林	その他	年度合計
25	大袋・大沢・蒲生	大袋東小・大沢北小・蒲生南小	17	14	1	2	34
26	桜井・北越谷 (緑のオアシスサロナー)	平方小・北越谷小	82	13	7	2	104
27	荻島 (緑のカーテン講習会)	荻島小	45	8	12	1	66
累計	6地区	6校	144	35	20	5	204

2-3 公共施設の屋上緑化

越谷市の一部の公共施設では屋上緑化を行い、夏の日射の軽減の推進を行っております。

屋上緑化の整備状況

整備年度	施設名	面積(m ²)	植栽の種類
13	本庁舎	66	ヘデラ・アジュガ・セダム
14	消防庁舎	89	マンネングサ(一部改修)
14	ゆりのき荘	600	マツバギク他
14	中央中	240	セダム・ラベンダー・シバ他
15	本庁舎	468	マンネングサ
18	城ノ上小学校	68.4	パンジー・ベコニア
19	リサイクルプラザ啓発棟	397	キチジョウソウ・ヒペリカム他
19	本庁舎(一部改修)	419	セダム(全体緑化面積 559 m ²)
20	大相模地区センター	163	ヘデラ
21	消防署蒲生分署	36	ヘデラ
22	障害者就労訓練施設しらこぼと	362	シバ
23	本庁舎(一部改修)	272(改修)	ヒメツルソバ(全体面積 559 m ²)
24	児童発達支援センター	211	シバ
26	保健所	237	クルマツツジ・サツキ・トウタンツツジ・シバ

(基本目標4)潤いと安らぎがある、住み続けたいまち

1. 環境保全区域

越谷市環境条例第30条に基づく環境保全区域として、昭和62年3月に次の2箇所を指定しています。

○宮内庁埼玉鴨場周辺

宮内庁埼玉鴨場は、宮内庁が管理する鴨場で、現在は賓客の接遇の場として利用されています。埼玉鴨場の自然環境を中心に、周辺の大林寺の文化歴史環境、さらに隣接の北越谷第五公園、元荒川河畔を含めた区域約17.8haが、「市民に憩いと安らぎを与える水辺及び緑などの優れた自然環境が形成されている区域」として指定されています。

地区	所在地	面積(m ²)
宮内庁埼玉鴨場	大林1番地外217筆	※99,154
大林寺	大林29-1外2筆	1,957
北越谷第五公園	北越谷五丁目482番地	15,170
元荒川河畔	隣接する河畔約880m	約62,000

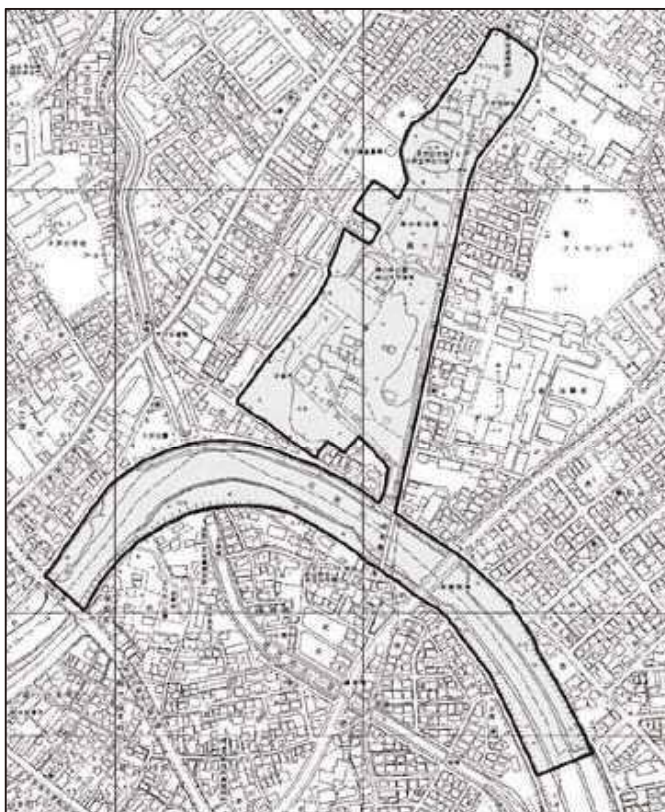
※公簿上の面積の合計。宮内庁埼玉鴨場面積は約11.6haとされていますが、環境保全区域では公簿面積を区域面積としています。



○越ヶ谷久伊豆神社周辺

越ヶ谷久伊豆神社と天嶽寺の文化歴史環境と、越ヶ谷久伊豆神社の社叢とアリタキ植物園(指定時はアリタキアーボレータム)の自然環境、さらに元荒川と緑の森公園(指定時は公園予定地)を含めた区域約8.5haが、「地域の歴史の変遷を知り、地域を特徴づけるうえで重要な社寺若しくは遺跡又は伝統的家並みなど及びこれらの歴史的遺産と結びついた優れた景観を有する区域」として指定されています。

地区	所在地	面積(m ²)
越ヶ谷久伊豆神社	越ヶ谷1697番地外9筆	18,331
天嶽寺	越ヶ谷2549番地外24筆	24,107
越ヶ谷アリタキ植物園	越ヶ谷2562番地外17筆	8,121
緑の森公園外	越ヶ谷2579番地外31筆	10,815
元荒川河畔	隣接する河畔約370m	約24,000



2. 鳥獣保護区

埼玉県指定鳥獣保護区として、市内では2箇所が指定されています。鳥獣保護区とは、多様な鳥獣の生息環境を保全、管理及び整備することにより、鳥獣の保護繁殖を図ることを目的として、指定されたものであり、狩猟による鳥獣の捕獲等が禁止されています。また、越谷市全域が特定猟具使用禁止区域(銃)として指定されており、銃猟が禁止されています。

越谷市における鳥獣保護区

番号	名称	場所	面積 (ha)	期限	指定
27	越谷	宮内庁埼玉鴨場周辺	145	29.10.31	昭37
62	大吉	大吉調節池	10.3	36.10.31	平16



3. 文化財・市の天然記念物等

越谷市には国重要文化財1件、国指定1件、県指定7件、市指定64件の計73件の指定文化財があります。そのうち天然記念物は国指定の越ヶ谷のシラコバト、県指定の久伊豆神社のフジなど、12件が指定され、市ではこれらの保護や維持管理に関する取り組みを支援しています。

市の天然記念物

指定区分	名称	所在地	指定年月日
国	越ヶ谷のシラコバト	越谷市周辺	S31.1.14
県	久伊豆神社のフジ	越ヶ谷 1700	S16.3.31
市	林泉寺駒止のマキ	増林 3818	S42.1.11
市	ラクウショウ	越ヶ谷 2566	S42.1.11
市	有瀧家のタブノキ	中町 8-26	S42.1.11
市	大聖寺のタブノキ	相模町 6-442	S58.3.31
市	浅間神社のケヤキ	中町	S58.3.31
市	中村家のイチヨウ	東越谷	S58.3.31
市	聖徳寺のイチヨウ	北川崎 18	S59.9.27
市	森家のイチヨウ	平方	H1.3.31
市	田中家のクスノキ	川柳町	S62.1.29
市	中村家のクスノキ	大成町	S63.2.27

市の記念物(名勝)

指定区分	名称	所在地	指定年月日
市	久伊豆神社 社叢	越谷 1700	S42.1.11

4. 景観

4-1 ポイ捨て・不法投棄の防止

各団体が行った清掃活動等により集められたごみや不法投棄物の収集・処理を行うとともに、ポイ捨て禁止及び飼い犬のふんの放置防止、不法投棄禁止の啓発看板を設置・配布することにより、地域の快適な生活環境を確保し、清潔できれいな街づくりの推進を図っています。

収集件数

	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
自治会清掃件数	233	271	243	300	449
不法投棄件数	2,146	1,530	1,449	1,426	1,461

基本目標別の現状と対策
 (基本目標4) 潤いと安らぎがある、住み続けたいまち

(基本目標5)市民みんなの協働で、だれもが環境保全に参加するまち

1. 環境教育

1-1 越谷生物多様性子ども調査

平成24年度から始まった越谷市独自の指標生物調査です。この調査では、子どもたちが学校やビオトープ周辺のトンボの生息状況を調べ、活動を通して越谷市の環境の現状について知り、調査結果を元に生きものにとってやさしいまちづくりについて考えます。平成27年度の調査では越谷市内の小学校で、トンボの成虫とヤゴ合わせて23種が確認されました。



各小学校におけるビオトープの整備状況

整備年度	改修年度	学校名	面積(m ²)
平成4	平成26	大袋東小学校	900
平成7	平成23	弥栄小学校	400
	平成23	東越谷小学校	400
平成8	平成23	南越谷小学校	800
平成9	平成24	川柳小学校	250
平成10	平成24	桜井小学校	200
平成11	平成24	西方小学校	300
	平成25	蒲生南小学校	200
平成12	平成25	花田小学校	450
平成13	平成25	大袋北小学校	300
平成15	平成26	千間台小学校	125
	平成26	桜井南小学校	—
平成16	平成27	新方小学校	450
平成19	平成27	城ノ上小学校	615
平成25	平成27	増林小学校	18

※上記に掲載のない小学校についても、コンテナ等を利用した簡易なビオトープが設置されています。

※小学校以外では平方地区に自然観察林が、大吉調節池には野鳥保護ゾーンが設置されています。また、大相模調節池には市民団体が管理を行っているビオトープが整備されています。

1-2 自然観察会・身近な生物調査

市では越谷市内に生息している生物の観察・調査や自然に親しんでもらうため、自然観察会等を開催しています。平成27年度は観察会を2回行いました。

○越谷アリタキ植物園 春の観察会(第8回 ECO 勉強会)

越谷アリタキ植物園は、市に寄贈された故 有瀧龍雄氏の植物園を整備し、市の植物園として平成22年に開園されたものです。この植物園で、「越谷アリタキ緑の会」のガイドさんの案内により植物の観察を行いました。

日時:平成27年5月9日(土)13:30~15:00
 場所:越谷市越ヶ谷 2563-1 越谷アリタキ植物園
 参加者:37名



○新方川生物調査(第9回 ECO 勉強会)

身近な河川に生息する生き物の観察や、新方川の環境保全のため環境推進市民会議、新方川をきれいに
する会と市が主催し、埼玉東部漁協協同組合の協力により川ガキ養成事業として水生生物調査を行いました。

日 時:平成27年8月2日(日)9:30~11:00

場 所:新方川(向畑橋上流、弥栄小学校西)

参加者:50名

観察した水生生物

【魚類】

No.	科名	種名	採集数	備考
1	アメリカナマズ科	アメリカナマズ	2	特定外来生物
2	コイ科	モツゴ	1	
3	コイ科	タイリクバラタナゴ	1	要注意外来生物
4	タイワンドジョウ科	カムルチー(ライギョ)	1	要注意外来生物
5	ウナギ科	ニホンウナギ	2	
6	ハゼ科	ヨシノボリ	5	
7	ハゼ科	マハゼ	6	

【甲殻類】

No.	科名	種名	採集数	備考
1	テナガエビ科	テナガエビ	20以上	
2	テナガエビ科	スジエビ	30以上	
3	モクズガニ科	モクズガニ	1	

【その他】

No.	科名	種名	採集数	備考
1	ヌマガメ科	ミシシippアカミミガメ	3	要注意外来生物



1-3 出前授業・環境講演会

市では地域や小学校等を対象に出前授業や環境講演会を開催しております。平成27年度は大間野小学校
4年生を対象に出前授業を実施しました。

平成27年度 環境授業・環境講演会実施内容

実施日	対象者	参加人数	テーマ
9月15日	大間野小学校4年生	104名	綾瀬川の歴史と水環境について

※上記の他、各小学校で実施している生物多様性子ども調査の授業に、市の職員が参加し、環境サポーターと共に学習
支援を行っています。(平成27年度は13回の授業に出席しました。)

1-4 児童館ヒマワリの環境学習事業

児童館ヒマワリのテーマ「生物と環境」には、子どもたちが人と自然の調和や動植物を慈しみ生命を尊重する心もち、科学する心を培っていくという願いが込められています。また、こどもエコクラブ活動の推進により、地球環境を保護するなど、環境形成者としての実践力を育成することをねらいとしています。平成27年度末現在、35クラブ1,737人が登録を行っています。

— 主な実施事業 —

①ヒマワリこども科学講演会

自然環境、動植物、人体などの研究成果や興味深い事実などに触れることをとおして、自然に関する興味・関心を高めると共に、科学的なものの見方や考え方ができるようにすることをねらいとしています。

テーマ	開催日
「みんな知ってる？生きものこと」	7月31日(金)



②ヒマワリこども自然塾

野鳥や植物などの自然観察をとおして自然環境の保全意識や、自然を愛する感性豊かな心を育むことをねらいとしています。

題名	開催日
学校で生きもの発見！（春）	4月5日(日)
プールのヤゴ救出大作戦	5月24日(日)
若葉をウオッチ！北本自然観察公園	6月7日(日)
ホウネンエビ・カブトエビ捕獲大作戦	6月28日(日)
昆虫トラップ作戦	7月5日(火)
セミのぬけがら集め大会	9月6日(日)
秋のプールのヤゴとり大作戦	10月4日(日)
自然体験バスツアーでっかいドングリ拾い放題	11月22日(日)
学校で生きもの発見！（冬）	12月13日(日)
ハクチョウを見に行こう！多々良沼	1月10日(日)
鳥が入る巣箱づくり	2月14日(日)
川魚トラップ作戦	3月13日(日)



③夏季特別企画展

地球上のあらゆる環境に適応し、生き抜いている昆虫たち。その中でも子どもたちに人気があり、親しみのあるカブトムシ・クワガタムシを中心にチョウ・トンボ等の特別展示(昆虫の世界)を実施し、環境や生物に対する興味・関心を高めることをねらいとしています。

題名	開催期間
夏！いきいき生きもの～昆虫と触れ合おう	7月18日(土)～ 7月31日(金)



④わくわく科学教室

学校では経験できない生物の観察やいろいろな科学実験、自然を生かしたものづくり等を行いながら、自然や環境も含めた様々なことを学び、科学への興味・関心を高めることをねらいとしています。

題名	開催日	題名	開催日
いろいろな種の模型を作って空高く飛ばそう	4月12日(日)	びっくり! すてきな切り絵に挑戦	9月13日(日)
押し花でアート①	4月19日(日)	君にもできる! 昆虫標本づくりに挑戦	9月20日(日)
押し花でアート②	4月26日(日)	ミニミニピオトープをつくろう	9月27日(日)
3階のプチトマトでジャムをつくろう	4月29日(水)	植物で染物に挑戦	10月11日(日)
3階のプチトマトでトマトソース作りにチャレンジ	5月6日(水)	秋の野草でリースづくり	10月25日(日)
植物で染物に挑戦	5月10日(日)	牛乳パックできらめくポストカードをつくろう	11月1日(日)
楽しい海の生きものたち	5月17日(日)	楽しい海の生きものたち	11月15日(日)
3階のプチトマトでジャムをつくろう	6月14日(日)	ヒマワリの果実でジャムをつくろう	11月23日(月)
生物標本でアクセサリーをつくろう(封入標本)	6月21日(日)	羊からの贈り物 ふわふわ小物づくり	11月29日(日)
ホテル鑑賞会	6月28日(日)	すてきなクリスマスキャンドルをつくろう	12月20日(日)
ポンポン船をつくろう	7月12日(日)	ほかほかホッカイロであったまろう	1月17日(日)
おいしい! ヨモギだんごづくり	7月27日(日)	ふわふわ凧とくるくるリボン	1月24日(日)
手づくり乾電池教室	8月5日(水)	楽しい菌類	1月31日(日)
いい声で鳴かそう! スズムシ教室	8月7日(金)	恐竜の骨格標本をつくろう	2月7日(日)
化石のレプリカをつくろう	8月19日(水)	楽しい海の生きものたち	2月21日(日)
枝豆白玉ずんだをつくろう	8月22日(土)	粉の不思議 手打ちうどんに挑戦	3月6日(日)
3階のプチトマトでトマトソース作りにチャレンジ	8月23日(日)	ポップコーン カレー味に挑戦!	3月20日(日)
楽しい海の生きものたち	8月30日(日)		

⑤こどもエコバザール

おもちゃ、文房具、本などのこども版不用品交換市。

自分が不用となったものを持ち寄って交換することにより、子どもに物を大切にすることの大切さや楽しさを実感させることをねらいとしています。 開催日:11月29日(日)

⑥ヒマワリこどもエコクラブ

米作りを通し、健康・水・生物などの関わりから環境について考え、一人ひとりの環境保全に対する意識を高める。また、異なる学校のクラブ員相互の交流を図っています、(毎月1回開催)

2. 環境保全活動

2-1 越谷市環境推進市民会議

(ア) 組織の概要

越谷市環境推進市民会議は、地球環境の復元能力を超えた人間活動により、私達人間を含めた生物の生存が脅かされている状況を認識し、自然豊かな恵のある地球環境を維持・改善して次世代に受け継いでいくため、市民参加により策定された越谷市環境管理計画に基づいて、市民・事業者の各主体が行う環境保全活動の事業を支援していくことを目的として、平成13年に設立された市民団体です。会長以下役員が置かれ、3つの委員会を中心に活動が行われています。平成27年度末現在、団体会員38事業所、個人会員37名が参加をしています。

(委員会の名称と活動内容)

総務広報委員会:越谷市環境大会、勉強会、エコウィークなどの総合企画、エコニュースの編集発行

自然環境委員会:こしがや緑のオアシスの調査・推薦、市内の自然環境調査

普及事業委員会:エコ事業所宣言・環境ファミリー宣言・緑のカーテンの普及啓発活動、会員の募集

(イ) 越谷市環境大会

越谷市環境大会は、越谷市環境推進市民会議と越谷市が、「市民・事業者の各主体が行う環境保全活動の事業を支援していく」ため、市民の皆さんや、事業所、関係機関などに参加を呼びかけ、毎年開催をしています。平成27年度は、第12回として“「水郷こしがや」の河川は、今”をテーマに、越谷市を特徴づけている河川の歴史や現状、河川で行われている市民・事業者による活動の報告やパネルディスカッションを通して、よりよい河川環境づくりや、環境の取組の活性化を目指しました。



日時:平成28年2月13日(土)13:00~17:00

会場:越谷市中央市民会館5階 第4~6会議室

参加者:67名

<p>第1部 年度報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「平成26年度の越谷市の環境への取り組み」 越谷市環境政策課職員 ●「越谷市環境推進市民会議の活動」 越谷市環境推進市民会議 会長 斉藤 光明
<p>第2部 テーマ報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「市内の河川(用水)の歴史について」 NPO法人越谷市郷土研究会 常任理事 秦野 秀明 ●「水辺のいきものについて」 埼玉県立川の博物館 学芸員 藤田 宏之 ●「総合的な治水対策について」 埼玉県総合治水事務所 利根川・荒川水系担当部長 田中 久義
<p>第3部 パネルディスカッション～「市民力による河川環境の保全」</p> <ul style="list-style-type: none"> ●パネリスト <p>新方川をきれいにする会 会長 門田 照男</p> <p>元荒川・中川周辺の自然を守る会 副会長 大西 久美子</p> <p>元荒川の自然を守る会 事務局長 堀江 礼子</p> <p>ワタキューセイモア(株)関東支店 生産部 越谷工場 副工場長 野崎 進一</p> <p>テーマ報告発表者</p>



(ウ)ECO 勉強会

越谷環境管理計画に基づく施策の実現に向け、市民、事業者、環境活動団体、教育機関などとのつながり(連携)を深め、定期的に情報交換・意見交換などを行う機会として、平成25年度より開催しています。平成27年度は5回のECO勉強会を開催しました。

平成27年度ECO勉強会実施状況

月日	回(通算)	勉強会名	参加人数
5月9日	第8回	越谷アリタキ植物園 春の観察会	37名
8月2日	第9回	新方川の魚を調べてみよう	50名
9月25日	第10回	越谷市緑の基本計画について学ぼう!!	15名
12月18日	第11回	越谷市環境管理計画について学ぼう!!	15名
1月19日	第12回	第2次越谷市都市農業推進基本計画について学ぼう!!	12名

2-2 こしがや環境サポーター

市民や団体、教育機関等における環境配慮活動等への協力、支援を進めながら地域における自然環境保全、普及啓発活動を幅広く推進していくため、越谷市では、登録制による「こしがや環境サポーター」制度を平成27年度から開始しました。サポーターとして登録された方は、地域や学校などの求めに応じ、環境イベントへの協力や、学校の環境学習への支援を行っています。

○平成27年度末現在登録数:市民サポーター62名、学生サポーター19名

平成27年度活動内容

活動名称	内容	実施日	参加者
環境サポーター交流会(第1回)	年度予定事業説明、活動事例発表と意見交換等	8月28日	28名
オオオナモミ除去活動	葛西用水でのオオオナモミ除草と清掃、キタミソウの観察	10月3日	8名
秋の夜長のキャンドルナイト	イベント運営協力	10月18日	12名
コシガヤホシクサ野生復帰事業	栽培個体の種子採取作業	11月25日	5名
環境サポーター交流会(第2回)	年度事業報告と次年度事業計画説明、研修(IPCCレポート)等	3月24日	20名
越谷生物多様性子ども調査支援	トンボ調査学習支援など	通年	—



活動の様子(左上:サポーター交流会・右上:オナモミ除去、左下:キャンドルナイト、右下:コシガヤホシクサ種子採取)